

コロナウイルスに立ち向かい核兵器禁止条約の早期発効を



国民平和大行進 和歌山→広島コース 5月8日(金) 宣伝カーが橋本市庁舎前から出発しました。



連休明けの5月8日、新型コロナウイルス感染症が猛威を振る中ですが国民平和大行進「和歌山→広島コース」が橋本市庁舎前より宣伝カーをスタートさせました。広島と長崎に原爆が投下されてから75年目になります。世界には、13,880発の核兵器があり、米ロ両国が95%を保有しています。核がある限り使われる可能性があります。核の終末時計も史上最短100秒に針が進みました。新型コロナウイルスには兵器も軍隊も何の役にも立ちません。国連事務総長も世界が共通の危機に立ち向かうために「あらゆる場所での即時停戦」を呼びかけています。ローマ教皇も「今は武器をつくるのではなく、命を救うために巨額を費やすときだ」と訴えています。

宣伝カー出発前に、大城伊都原水協務局長と県原水協事務局で秘書広報課を訪ね、被爆者募金箱をお渡し、今年も協力を要請しました。その後、土井議長にお会いして「ヒバクシャ国際署名」の役職署名をお願いし、快く署名を頂きました。今年も、市長には協賛金とペント記帳、議長には協賛金のご協力も頂いています。宣伝カーは市庁舎前からR24号線を通りJR橋本駅で折り返し、旧町並の東家(とうげ)通りをゆっくり走りました。明日5月8日は、九度山町と高野町を宣伝カーが走ります。(事務局 里崎)